

11月のローターレート 1ドル 114円

2021年11月22日発行
第24巻15号



Rotary Club of Komatsu City News



ROTARY Club of
KOMATSU CITY
国際ロータリー第2610地区
1998年3月25日創立

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度RIテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」

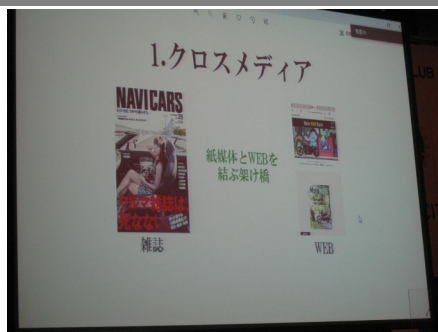
例会場：〒923-0868 石川県小松市日の出町4-93

ホテルビナリオKOMATSUセントレ2階 毎週月曜日 19:00点鐘

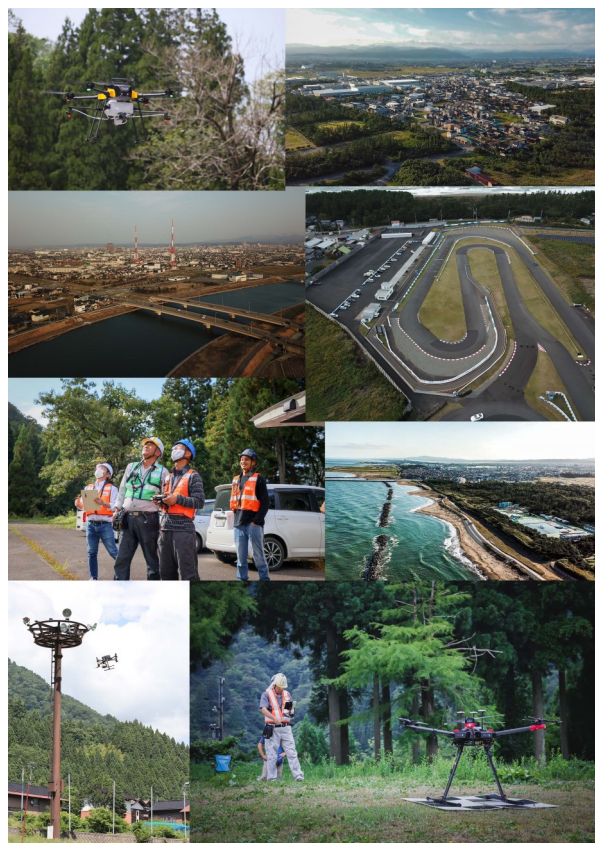
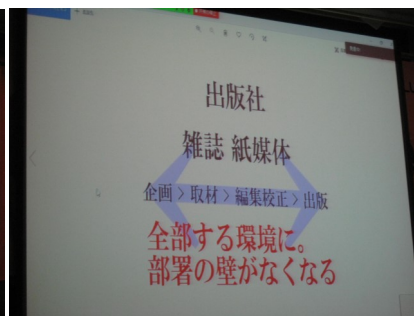
事務所：同上 ホテルビナリオKOMATSUセントレ1F TEL 0761-20-2610 FAX 20-2600

E-Mail: rotarian@sirius.ocn.ne.jp Home-Page: <http://www3.ocn.ne.jp/~rotarykc/>

2021年11月8日(月) 小松シティRC第993回例会 当クラブ出席率 63.64% (補正出席率63.64%)
ゲスト卓話 「商業写真とドローン」 Marvelous Photo 見世 真一 様



Marvelous photo マーヴェラス フォト



【会長挨拶】先日うちの近くにある「ゆず庵」という飲食店に行きましたところ、大変面白いものを見ました。人間のスタッフに交じって配膳ロボットが卓まで配膳してきて「お待たせしました」と言い、食べ物の入った皿を取り終わると「持ち帰るお食器はありますか」と言うので食べ終わった食器を乗せると「ありがとうございました」と言って去っていくのです。人やテーブルにぶつかるわけではなく、スムーズに動くところを見ると沢山のセンサーで動いていると想像し、ロボット業界もここまで進んだんだと感心しました。ところが、ある雑誌の「ロボットビジネスの現在地」という記事を見ましたら、日本のロボットビジネスはまだまだこれからだということを知りました。ロボット技術の最先端を行き、活用に規模でも世界で最も進んでいるのはアメリカで、特にシリコンバレーなどでは、レストランで使用する配達ロボットは町中で数百台もひっきりなしに動いているとのこと。店舗の中にも多くのロボットが活用されており、調理ロボットと配膳ロボットがすべてを行う完全無人化レストランもあるそうです。中国もものすごいスピードでロボディスク化が進んでおり、フルロボット化されたレストランが出始めている他、警察や消防で多くのドローンが使われています。物流のフルロボット化も進みつつあり、全土に自動化された倉庫を設置し、配送に関する機械、配達車など、物流におけるあらゆる側面でロボット技術を使用。日本では諸外国に比べて政府の規制が厳しいため、広域的な展開は難しいようで、私有地の中など規制に縛られないエリアではロボットの活用が少しずつ広がりを見せ始めているそうです。スマート農業の分野では「アイガモ農法」をヒントに米農家向けに開発されたアイガモロボットがあります。アイガモというのは、田んぼにアイガモを放すことで、害虫や雑草を食べてもらうことで、農薬等がなくても稲を育てられるという農法です。その他では、AIで色を判断して収穫するロボットは正確な色の判定に適した夜間にイチゴのビニルハウスを巡回して収穫して生産性を上げているようです。動物型ロボットと言えば、sonyのアイボが思い浮かびます。アイボは1999年の発売当時「ペットロボット」という革命的な分野を確立しました。アイボは犬型ロボットで飼い主との生活の中で個々に成長するようプログラムされ、長く稼働させる間に、扱い状況に応じて、次第に「個性」が発生します。この個性により、置かれた環境の違うAIBO同士では、行動の違いも発生するという画期的なものでした。aiboの専用HPもあっていろいろな動画も見られますのでご覧ください。土曜日からいよいよカニ漁が始まり、今期からブランド化された「輝」ランクのカニが500蔓延で競り落とされたそうです。さすがにこのクラスは無理でも今年も何度か食してみたいと思う今日この頃です。

【幹事報告】

・配布資料 ロータリーの友 11月号

【ロータリー情報のコーナー】 ～山崎R情報雑誌委員長～

「小松シティRC ニコニコボックス ゲスト卓話御礼・閉会点鐘御礼・その他」

- ・鈴木隆史「マーベラスフォト見世真一様、本日はお忙しい中当クラブでの卓話を有難うございました。有限会社玲瓏の稲出廣昭様、当クラブへようこそ。今後共小松シティRCを宜しくお願い致します。」
- ・松本賢一「見世様、稲出様、本日はお忙しい中卓話頂き有難うございました。今日、仕事の関係で安田さんの事業所にお伺いして来ました。普通に元気になっておりました。早く戻って来て欲しいです。」
- ・河北和則「本日はマーベラスフォト見世真一様、有限会社玲瓏代表稲出廣昭様、ご来場誠に感謝致します！ドローンの活躍の場面、増えていく事期待しております。」
- ・山崎秀雄「見世真一様、忙しい時期を割いて頂き有難うございました。「スチール撮影、空撮ドローンスクール」について、分かり易く卓話して頂き有難うございます。今後の益々のご発展を祈ります。」
- ・奥山悦朗「見世様、卓話有難うございました。コロナ感染が10日間ゼロで嬉しい事です。しかし6波はやってきますが小さい波となるでしょう。（新たな変異ウィルスを入れない限り）ワクチンが思った以上に進んだ事と人々が感染防止対策を学んだ事、そしてさらに何があるのかなと思っていたら最近になり、ウィルスの変化、自壊説が出ております。ウィルスが増殖する時にコピーミスが出ますが、それを修復するnsp14と言う酵素が働かなくなり役に立たないウィルスばかりになって自壊して行く説ですが、あくまでも都合の良い仮説であり、実証されたわけではありません。1部の人には起こり得たかもしれませんが、すべての人がそうかと言うと矛盾点もあり全面的にはそれが減少の大きな因となったとは考えにくい面もあります。今後は市民、国民としてやれる事は時期がきたら3回目のワクチンを受ける事。今まで通りの感染予防対策をする事が重要です。国としてはワクチンを受けてない層にすすめる事、特に今後は11才以下の小学生、幼稚園児にも拡大する事が必要（団体生活の中で集団感染の危険性が高い）そして一番重要なのがやはり入国管理強化です。せっかく日本で収束に近い状況になっているのに大流行中の外国から変異ウィルスを少しでも入れたら、変異を繰り返すたびに今のワクチンが効きにくくなり、また大流行となり全て一からやり直しになると思いますが、政府や厚労省には学習能力がないみたいで入国を逆に緩めてしまいました。何を考えているのか分かりませんが？大変危険だと思います。」
- ・杉本隆「見世真一様、本日はお忙しい中当クラブでの卓話有難うございました。大変勉強になりました。」

(順不同・敬称略)